

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年7月29日

事業所名:若松ひまわり学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・プレイルームなどは、人数を制限して多くならないように工夫している。 ・密にならないようお子様の動きに合わせて対応をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員に対する部屋の広さについては基準内である。 ・相談室内でのグループ活動については短時間で終了し、プレイルームや園庭で活動するなどの対応をしている。
	②	職員の配置数は適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・基準よりも多く配置している。 ・クラスの担当職員だけでなく職員全体でお子様の状態を把握し、協力しながら対応している。 ・戸外と室内に分かれた活動時、配置数が適切であるか配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児が多いクラスは、安心して安全に過ごせるように、職員数を増やすなど配置の工夫をしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・パーテーションや敷物、スケジュール、手順書等お子様にわかりやすい視覚支援を行い、環境を整えている。 ・絵カード等の視覚支援は、お子様にとって刺激が過剰にならないよう、状況に応じて取り外しができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段差、サッシのレール等建物が古いため、安全を一番に考えながら、修繕や塗り替えなどを行っている。 ・トイレはバリアフリー化。 ・今後もお子様達の状態に合わせた環境を考えていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・登園前と登園後に清掃を行っている ・子ども用ロッカーは安全面を考慮し、扉を外している。 ・プレイルームなど、多く集まる場所は人数を制限している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、感染症対策等に気を配り、清潔に安全に過ごせる空間を設定する。
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・問題点等は、その日のうちにクラス職員や朝礼で話し合っている。 ・職員会議や指導会議で議題を挙げPDCAサイクルを繰り返し、問題解決や支援の向上を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議だけでなく、朝礼などを利用し、改善策を職員全体で考える場を多く設定し、業務の改善に取り組んでいく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、保護者用アンケートを実施し、改善点をホームページや園内に掲示して公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のご意見を確認し、職員全体で話し合いをしながら業務改善を行なっていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	⑦	事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	○		・アンケート結果や改善点については、ホームページや園内に掲示して公開している。	・職員全体で内容を周知し、改善に取り組んでいる。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・市の指定管理施設としてモニタリングを実施している。	・第三者による評価については今後検討する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部研修の参加の他、園内研修やケース協議を実施している。 ・各職員の希望も考慮して内容を調整している。	・研修で学んだ事を実践し、より向上できるようなケース協議や自主勉強会を実施する。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・面接での聞き取りや、ポータージプログラムを保護者にも付けてもらい、お子様の現状やニーズを聞き取って、支援計画を作成している。 ・お子様や保護者のニーズに合わせて必要な支援を心掛けている。	・丁寧にアセスメントを行い保護者のニーズを確認し、相談支援事業所と連携のもと、個々に応じた児童発達支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・遠城寺式乳幼児分析的発達検査やポータージプログラム、その他お子様の状態に応じてアセスメントツールを使用している。	・今後も継続していく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・ガイドラインをもとに相談支援専門員、児童発達支援管理責任者、クラス担任が連携しながら、具体的な支援内容について検討している。 ・ガイドラインは全職員が閲覧できる場所に置いており、いつでも確認できるようにしている。	・今後もガイドラインに沿って個々の支援計画を作成していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・支援計画を基に月の目標をたて、それに沿って支援を行っている。	・今後も定期的に児童発達支援計画を見直しながら月目標に沿って支援していく。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・クラス担任以外にもグループ活動に関わる職員とも情報交換しながら取り組んでいる。 ・活動案はクラス職員で話し合っ決めていく。	・今後もお子様の様子を確認しながら活動プログラムをクラス職員やグループ職員で立案し、保護者に知らせていく。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・クラス担任とグループ担当とで工夫している ・インターネットで情報を得る等して、様々な活動を取り入れている。 ・お子様達の興味や季節に合った内容を取り入れるようにしている。 ・同じ活動でも発達に合わせて変化させて取り組む。	・お子様達の興味のある物や得意なことを取り入れた内容を考えて取り組んでいく。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・クラス担任やグループ担当と情報を共有して作成している。	・支援計画の目標については、個別、集団に分けて立て、実施していく。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎朝の朝礼時に確認し、細かい内容は担当職員で打ち合わせを行っている。	・朝礼に参加できないバス添乗職員に関しては、各クラスの職員が確実に伝達するように徹底する。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・毎日、降園後は職員間でその日の振り返り、情報交換、支援の見直し等を行っている。 ・記録を付け、不在の職員も情報が共有できるようにする。	・降園後は、チェックリストや個人の記録を記入する時間を取り、不在の職員にも確認できるよう徹底する。
⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・個別の記録を作成している。	・今後も継続していく。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・モニタリングの時期を決め、全園児必ず実施している。	・児童発達支援管理責任者が継続していく。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・相談支援専門員、児童発達支援管理責任者、各クラス担当者と共に会議を実施している。	・今後も継続していく。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じて、各関係機関(区役所、子ども総合センター等)と連携をとっている。 ・区役所で毎月実施されている子育て相談に参加している。	・今年度も継続していく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・該当児がいない。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・該当児がいない。	
関係機関や保護者との連携	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・今年度は対象児がいなかった。	・対象児がいる場合は、文書にまとめ情報の共有を図っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・保護者の同意を得て、入学先の学校へ書面・口頭で引継ぎを行っている。	・今後も継続していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・総合療育センター地域支援室の訓練士等と連携し、助言や勉強会講師を依頼している。 ・必要に応じ、事業所等との連携を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく。
②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度は行っていない。例年、地域の保育所と一部のお子様が交流保育を実施しており、その際、全員と接する機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は交流は中止となったが、収束後は継続していく。
②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・若松区子育て支援部会に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も要請に応じていく。
③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の連絡帳や送迎時、電話にて伝達し合っている。 ・家庭環境や保護者の心身の状況に合わせた対応を心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者の意向などを確認しながら、お子様の状態についての共通理解に努めていく。
③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度はペアレントプログラムを実施。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかったが、必要に応じて電話等で対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は勉強会は中止となったが、収束後は実施予定。
③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別に契約を行い、了承を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ、わかりやすい言葉にして説明していく。
③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別に懇談を行い、内容の説明を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して説明していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・個人懇談を年に3回全員実施している。 ・お子様の状態を連絡帳などで情報交換し、必要に応じて助言をしている。	・今後も継続していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動はほとんど行っていない。 ・保護者会とは常に連絡を取り合っている。	・保護者会の意向を尊重し必要に応じて支援していく。 ・役員に負担がかからないように配慮する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・個人懇談会の他、相談があった際は、保護者の希望に合わせ、懇談を設定したり、当日のうちに電話で相談に応じている。	・担当職員以外でも園長、児童発達支援管理責任者含め保護者の思いを尊重しながら迅速に対応していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・月のお知らせを毎月発行する以外に、ホームページのブログでも活動の様子を伝えるようにしている。	・ホームページのブログの更新時には、連絡帳にその旨のお知らせを貼り、園の様子を見てもらえるようにしていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・書類等は施錠し保管することを徹底している。 ・毎日、ファイルの数を確認している。 ・資料等の作成は園内で行い、持ち出しは禁止している。また、持ち出さないといけない場合は、園長、主任等が確認している。 ・クラス内のロッカー等は名前ではなくマークにしている。	・職員に周知徹底する。また、コンプライアンス研修として個人情報保護について毎年行なう。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・お子様に合わせ、絵カードやジェスチャー等使用して情報を伝えるようにしている。	・今後も継続していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・地域の文化祭に作品を提供したり、広報誌を作成し、回覧版に入れてもらっている。	・今後も継続していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・火災、土砂災害、地震、不審者対応訓練等定期的に実施している。	・マニュアルを策定し、訓練も実施している。 ・保護者への周知は月のお知らせや、連絡帳、ホームページ等で知らせていく。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・災害に応じて一時避難、二次避難まで行っている。	・火災想定避難訓練に関しては毎月実施。その他、不審者想定、地震想定等も実施している。 ・連絡帳やホームページで様子を知らせる。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・年度始め、保護者へお子様の状況や対応について確認している(保健調査表)。 ・家庭で、状況の変化や変更があった場合は、学園に連絡するよう伝えている。	・個人懇談時に定期的に状況や変更の確認をしていく。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・必ず医師の診断書を提出してもらい、除去食を提供している。 ・毎月、保護者と献立の確認を行っている。 ・毎日クラス職員で献立表を確認をしている。	・今後も継続して対応する。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・報告書を作成し、毎朝朝礼で周知している。	・ヒヤリハットの確認は毎日朝礼で行い対応について職員間で確認している。 ・事例集の作成を検討課題とする。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・クラスで毎月チェックリストに基づいて振り返りを行っている。 ・虐待防止委員を設置し、会議を実施している。 ・年2回人権研修を行っている。	・虐待についての研修を実施。また、施設外で虐待についての研修があれば参加する。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・チャイルドシート等、やむを得ず他児と異なる対応を行う際は、説明を行い、書面にてサイン・押印をもらっている。 ・身体拘束を行った場合(バス内のチャイルドシートやパーテーション)は毎回記録を付け、必要がなくなった場合は速やかに保護者に伝え、解除している。	・バス内や身体拘束を必要とする場合は、安全確保を優先し、支援計画の中に入れて定期的に見直しを行なう。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。